

令和3年度 第1回壮警町総合教育会議 議事録

期 日 令和3年11月16日（火）

場 所 地域交流センター山美湖 1階 多目的ホール

出席者	町長	田 鍋 敏 也
	教育委員	松 永 美 継
	教育委員	金 子 祐 一
	教育委員	濱 田 美和子
	教育委員	成 澤 敏 勇
	教育長	谷 坂 常 年
	副町長	黒 崎 嘉 方
	生涯学習課長	河 野 圭
	生涯学習課主幹	寺 田 伸 也
	企画財政課長	上 名 正 樹
	企画財政課主幹	武 岡 忍
	企画財政課係長	加 納 翼

- 1 開 会 午後2時00分
- 2 町長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 議 題 壮警中学校の整備について
- 5 閉 会 午後2時39分

1 開会

上名課長 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和3年度第1回総合教育会議を開催いたします。

本日は、ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。

本日の進行を務めます、企画財政課長の上名と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、まず始めに、田鍋町長よりご挨拶を申し上げます。

2 町長挨拶

田鍋町長 皆さん、こんにちは。

教育委員の皆様におかれましては、本町の教育行政の推進にお力添えを賜っておりますことに心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が長期化しておりますが、ワクチン接種の進展に伴い新規感染者数が少ない状況が続いており、町では感染対策を行いつつ、社会経済活動の活発化に向け取り組む所存であります。3回目のワクチンについても報じられていますが、これからも様々な施策を進めて行く所存でありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

総合教育会議につきましては、昨年7月14日以来の開催となります。町ではこれまで、平成28年度以降不均衡となっております財政収支の改善を最優先課題として、副町長を陣頭指揮に、全庁的に歳出削減と財源確保に努め、改善を図ってきたところでございます。令和元年度、令和2年度の決算では、概ね収支改善が図られ、町の貯金にあたる基金は、令和2年度末に5年度ぶりに増となっております。全体で17億8千万円となったところであります。

こうした課題解決に取り組みながら、昨年3月には第5次まちづくり総合計画の策定や壮瞥町こども子育て支援条例を制定し、本年度から新しい子育て支援施策をスタートさせたところであります。加えて、様々な計画に基づき計画的な社会資本整備に向けた検討も行ってきたところでございます。

本日の会議につきましては、長年の懸案の一つである中学校の整備の検討状況をご説明申し上げ、委員の皆さまと意見交換をさせていただき、方向付け、確認をさせていただきたいと考えているところでございます。

すべては次代を担う子供たちのためにという思いを皆様と共有し、望ましい教育環境づくりを推進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

以上、開会にあたりまして私からのご挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。

上名課長 続きまして、谷坂教育長よりご挨拶申し上げます。

3 教育長挨拶

谷坂教育長 皆さん、こんにちは。

総合教育会議の開会にあたり、ご挨拶申し上げます。

本日は、お忙しい中ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

日頃より本町の次代を担う子供たちの教育と笑顔あふれる元気なまちづくりのための生涯学習の推進、教育、スポーツ、文化の振興など、幅広い分野における教育行政を一体的に進めることにつきまして、ご尽力をいただいていることを心より感謝申し上げます。

また、教育委員の皆さまには、先日の本町における小学校・中学校・高等学校への学校訪問の実施につきまして、御礼を申し上げます。

コロナ禍により一年ぶりの学校訪問となりましたが、管理職と学校経営や次年度予算に係る協議、日々の積み重ねが大切である授業について、本町の子どもたちの学びの様子を見ていただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

学校では明治、戦後に次ぐ第3の教育改革と言われるほどの教育の転換期にあたりと考えられ、学習指導要領も改訂されました。本町においても、変化の激しい社会を生き抜くために、子どもたちひとりひとりが自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の作り手となることができるようにすることが重要なことであると考えます。そのため、教育委員会はもとより、町部局、さらには家庭、地域社会とも連携し、協働して教育環境を整え、教育活動のさらなる充実を目指し、教育行政を推進する考えであります。

さて、本日の議題は壮瞥中学校の整備についてが主なものでありますことから、壮瞥町の未来を担う子供たちのために、充実した協議の場としていただきますようお願いを申し上げます、ご挨拶といたします。どうぞよろしく願い申し上げます。

上名課長 それではここで、本日の出席者をご紹介します。

総合教育会議の構成員として、田鍋町長、谷坂教育長、続きまして教育委員の松永委員、金子委員、濱田委員、成澤委員です。

それから、黒崎副町長、生涯学習課の河野課長、寺田主幹、事務局として企画財政課から私、上名と武岡主幹、加納係長も出席しております。

4 議題

上名課長 それでは、議案に入らせていただきます。

ここからの進行は、壮瞥町総合教育会議の運営に関する要綱第4条の規定により、田鍋町長をお願いいたします。

田鍋町長 それでは議題に移らせていただきます。

本日の議題は壮瞥中学校の整備についてです。まず、教育委員会から説明をお願いします。

河野課長 それでは、議題につきまして、説明させていただきます。

資料に基づきまして説明したいと思います。

1番の「経過」でございますが、平成29年4月に久保内中学校と壮警中学校が統合しております。平成30年3月に第2期定住促進・公共施設有効活用計画を策定し、「学校統合に伴う国庫補助を活用しながら壮警中学校の移転新築を進めて行く」と位置付けています。この位置付けの中には、「壮警小学校との一部施設・設備の供用も視野に入れて検討」ということも記載されています。令和2年度までの動きですけれども、小学校のあり方、財政収支改善等、課題解決に最優先に取り組みまして、これらについては改善の方向に向かってきています。令和3年3月に文部科学省との協議が整いまして、国庫補助・負担金事業「統合校舎等の新增築整備」という補助事業を使って壮警中学校を整備するというので、検討を行っております。6月以降、議会全員協議会で検討状況とスケジュールについて説明を行っております。7月下旬から移転候補地の土地の所有者とも交渉を始めているところでございます。

2番の「検討状況」ですけれども、これにつきましては8月20日に教育委員会協議会で説明した内容でございます。小学校の校舎については、10年度を目途にあり方を検討・判断していきたいと考えております。中学校の校舎につきましては、移転・新築ということで新設をし、体育館については、小学校ですけれども、小中併用として新設の検討をしていく考えでございます。中学校の体育館につきましては、検討の中で方向付けをしていきたいと思いますが、定住計画の中では解体というふうになっております。グラウンドについては、現小学校のグラウンドでは中学生が使うには少々狭い部分がありますので、小中併用のグラウンドを整備する考えです。中学校のグラウンドにつきましては、跡地利用ということで、公営住宅等に活用するというところでございます。プールにつきましては今後の検討の中で方向付けをしていきたいと考えております。

「現在の検討状況」でございますが、令和3年7月に隣接地権者、候補地の地権者へ、経過と定住計画の概要を説明しています。10月からは中学校整備に係る基本構想作成業務を発注しています。これらに基づく事業費と財源計画及び今後の進め方等を検討している状況でございます。

今後のスケジュールといたしましては、令和3年度中に基本構想を定め、令和4年度から5年度に基本設計と実施設計を行い、令和5年度から6年度にかけて校舎等の整備工事を行い、令和7年度に校舎等を除却するという予定でいます。

「関連事業」といたしましては、建部改良住宅、火山災害リスクを考慮し町民会館・壮警中学校跡地に分散し、改良住宅の移転建替え、中学校跡地のうち、改良住宅移転後の残地は宅地分譲するなどということで検討を進めているところでございます。

壮警中学校の整備についての説明は以上でございます。

田鍋町長 これまで、教育委員の皆様には、この件につきまして多大なお時間をいただ

いて意見交換をされてきたことではないかと拝察しているところであり、そのことにつきましても改めて御礼を申し上げたいと思っております。

今の説明について、質問などありましたらお願いします。

(特になかったので) それでは、本件について教育委員さんのご意見を拝聴させていただきたいと思っておりますので、順番にお願いいたします。

まず、松永職務代理、お願いします。

松永委員 今までの経緯も含めて考えてきましたので、読まさせていただきたいと思えます。

まずは平成28年頃から壮警中学校と久保内中学校の学校統合討議が始まったこと、そして、それと並行して、あるいはその後でありますけれども、当時築40年を経過しておりました壮警中学校の校舎新設について、委員会の中でもその可能性を探っていくべく議論が交わされたと記憶しております。できれば新しい校舎で、統合した新生壮警中学校がスタートできればという思いを、当時の教育委員全員が共有していたと感じております。文科省の、統合後6か年以内での新築に対する有利な補助制度、これを活用することで町財政においても有効であるという視点から、具体的な試案の検討を何パターンかに分けてさせていただきました。

しかし、年々厳しさを増す町財政と共に、平成29年の中学校統合直後から顕著となりました、久保内小学校校区での小学校統合に関する話が始まったことと相まって、中学校校舎新築の話は一時中断をせざるを得ない状況になったものと思っております。

その後、この2か年余りの町財政健全化の施策が順調に推移する中で、中学校の校舎新築の可能性が出てきたことと委員会の担当者の文科省への熱心なアプローチによりまして、学校統合後の校舎新築の経年に対する特例が認められたこと、これも今回の校舎整備に向けて大きな追い風になったものではないかと思っております。いずれにしましても、この町の子どもたちに望ましい教育環境を構築することが、教育委員会の大きな使命であると自覚する中で、より良い方向性が見い出されるよう委員の一人として大いに期待をしているところであります。

この総合教育会議を通じて、理事者との認識の共有と共に、わが町の教育施設の整備が図られる機会となりますよう心から願っているところでございます。具体的なこと、整備内容、検討事項については概ねここに掲載されている方向で進められるものと思っておりますのと、地域住民の皆様のご理解とご協力を今後もやっていかなければならないと思っておりますのでございます。

今、各地で町政懇談会が開催されていると聞いておりますので、その意見の集約も含めながら、さらに委員会の中でも検討を重ねていきたいというふうに思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上でございます。

田鍋町長 ありがとうございます。経過も含め、望ましい教育環境づくりを目指すこ

とにつきまして、教育委員会内部の話も含めて力強くまとめていただいたと
っております。町政懇談会については昨日から始まって、来週の月曜日まで5
か所で開催する予定となっているところであります、それらにつきまして
も教育委員会事務局を通じて、次回またはその次の会議くらいに内容をご説明さ
せていただきたいと思います。とっております。

それでは金子委員さん、よろしくお願いします。

金子委員 改めまして、お忙しい中このような場を設けていただきまして、ありがとう
ございます。

壮瞥中学校の整備につきましては、数年前から教育委員会でも協議されてき
た事案であって、財政的にもかなり大きな事業でもありますので、中学校統合
における有利な補助制度を使える時期にその方向性で進めていただいたこと
は、大変ありがたく、嬉しく思っております。ありがとうございます。

また、文科省が行っている小中一貫教育を進める意味においても、小学校に
隣接するのが望ましいのかなと思いますし、今年から正式に始まった中学校教
育の小学校における英語事業ですとか、学校運営協議会も、今は統合されてい
ますので、小学校の教育などがスムーズに行われるのかなと思います。

また、今後、小学校も築30年を超えており、いつ大きな災害が起きるかわか
らない状況だと思しますので、そのような先を見据えた柔軟な学校施設の在り
方をこれからも考えていかなければならないと思ひますし、我が町だけではなく、
他の市町村も老朽化や学校の統廃合の事案が少なからず見受けられます
ので、この町に見合った考えに合うような先進的事例を参考にして、また維持
管理のしやすさですとか、小学校と共有する教室の工夫など、良い事例を取り
入れていただいて、また、松永さんもおっしゃいましたけれども、町民の方の
意見を参考にしながら進めて行ければなと思っております。私の意見は以上で
す。

田鍋町長 ありがとうございます。

意見を踏まえまして、今年度策定する予定である基本構想に反映していけれ
ばと思っております。

続いて、濱田委員をお願いします。

濱田委員 毎年行われている学校訪問に行きまして、壮瞥中学校はとても古いというか、
いつ新しい中学校ができるのかなと思ひ、今年もまた学校訪問に行った時に、
こんなに古いんだということを感じました。やっと中学校の整備ができるとい
うことでほっとしております。またその中で、土地の交渉をされ整備をされる
ということで、土地もスムーズではないのかもしれませんが、提供を何
事もなくさせていただいたということで、とても安心しており、また中学校も
新しくなり、生徒たちもなお一層、今以上に夢も希望も楽しく生活できる学校
であると思っております。以上です。

田鍋町長 ありがとうございます。
ご意見を踏まえまして、今後も詳細を詰めていきたいと思ひます。
それでは成澤委員さん、よろしくお願ひします。

成澤委員 よろしくお願ひいたします。
これから新たに学校を建てるということは、本当に大変なことだと思ひてお
ります。財政的にも様々な面で大変だと思ひますけれども、国の補助を受け
ながら、そしてこれから新たに壮警小学校、それから壮警中学校というあそこ
の場所に新たなスクールゾーンと申しましょうか、壮警町の子どもたちが集う
場所が、壮警保育所、子どもセンターも近くなりますし、あその一体が、こ
れから町の子供たちがすくすく育っていくためのひとつの大きな場所になるの
かなと思ひると非常に楽しみにしている部分があります。ただ、先程も申し上げ
ましたように、大変な部分もあるかと思ひます。

そして、今、現段階で壮警小学校、壮警中学校の子どもさんたちの数が年々
減ってきているという話も聞きますので、これからも町だけでなく、国全体
で子どもたちの数が減っていくのですが、だからこそ、ひとりひとりに目を向
けた教育をこれからも町としてやっていていただきたいし、僕もそのために
力を尽くしたいなと思ひております。

そのためにも、ひとりひとりがすくすくと育っていくように、子どもを育て
る、人を育てるといふのは本当に大変なことだと思ひますけれども、環境も非
常に大切な部分があると思ひます。そのためにも、これから壮警中学校を新た
にしていだだいて、ひとりひとりが伸び伸びと教育を受けられる、育ってい
かれる場所を町として提供していければ良いかなと思ひております。以上です。

田鍋町長 ありがとうございました。
皆さんの思ひを受け止めて、施設だけでなく、広く教育環境づくりにつ
いて、皆さんと共にこれからも作っていきたくい思ひに至ったところでご
ざいます。ありがとうございます。
それでは、谷坂教育長お願ひします。

谷坂教育長 それでは、私からも、せつかくの機会ですので何点かお話をさせていただきます。

まず、本町の子供たちの状況ですけれども、全体的には大変落ち着いて学
校の教育活動に取り組んでおります。コロナ禍により、引き続き感染防止に努
めながらの教育活動ではありますが、小学校、中学校、高等学校の各学校にお
きましては、学校長を中心として、教職員のご指導により概ね順調に教育活動
が推進されております。

次に、先月10月27日に行われました壮警町教育研究会についてです。この研
究会は壮警小学校の柴田校長を会長として、小中学校全ての教職員で構成され

ております。研究主題を「未来を切り開く確かな力を身につけ心豊かにたくましく生きる壮警町の子どもたちの育成」、サブタイトルとして「教育の連続性を確保する壮警型小中一貫教育を通して」というテーマを設定しまして、年間を通して計画的組織的に研究活動が行われております。当日は、公開授業として、中学校の英語科の教諭と小学校3年生の担任教諭のチームティーチングによる小学校3年生の外国語活動、小学校6年生の数学科、中学校3年生の総合的な学習の時間の授業が公開され、総合分科会において胆振教育局指導主事、教育研究所の職員から助言をいただき、閉会となりました。本町全ての教職員、松永教育委員さんにも参加していただきまして、壮警高校の教職員も公開授業に参加し、日頃の教育研究の成果が随所に現れたレベルの高い研究会となり、助言者からも高い評価をいただきました。また、全ての授業においてひとり一台のタブレットの活用があり、日頃から授業の中で十分に活用されていることを理解することができました。学校長をはじめ、教職員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

最後になりますが、本町の大きな課題の一つでもありました中学校の整備についてであります。教育委員の皆さまもお話されておりましたが、長年にわたり教育委員会においても継続して審議してまいりました。説明の中にもありましたように、移転新築となりますと大きな投資が必要となることから、今後の町財政の見通しや定住促進・公共施設有効活用計画などの諸計画を踏まえ、総合的な判断により中学校整備を進める方向性を出していただけたこと、心より感謝申し上げます。今後は基本構想、基本実施設計業務など、教育委員会と町部局が連携して、子供たちと教職員がより充実した教育活動を推進するための教育環境をより良いものにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

これからも、子供ひとりひとりの良さを伸ばす教育の充実を基に、中学校整備と並行して、壮警高校の教育環境の整備や久保内小学校の今後についての課題もありますので、教育委員の皆様、生涯学習課の職員をはじめ、町部局、各学校、家庭や町民の皆さまと力を合わせて教育行政を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

田鍋町長 ありがとうございました。

総括的なお話をいただいたなとそのように思っております。教育委員の皆様と教育長の発言にありました、学校現場で日々子どもたちに向き合っていたらいてる教職員の皆さまに、私からも心から敬意並びに感謝の意を表したいと思っております。校長先生、教頭先生がこちらにいらしているということもあって、なかなかお目にかかる機会も無いこともあって、現場の先生方にくれぐれもよろしくお伝えいただきますようお願い申し上げます。

以上、教育委員の皆さまそして教育長からご発言をいただきました。一巡させていただきましたけれども、何か補足ですとか、再度この件についてありましたらお受けしたいと思っております。いかがですか。

(特に発言はなく)では、壮警中学校の整備の方向性などまとめにつきましては、長年の懸案であったということもあって、今まで検討、計画をしてきたことに対して、今ご説明させていただいた計画、方向性に沿って整備する方向ということで確認させていただいてよろしいでしょうか。

(はいという声)

ありがとうございました。

本年度は、先程も何度か申し上げているとおり、基本構想を策定する予定になっておりますので、これから年末、年が明け、年度末になってくると忙しくなることが予想され、時間との戦いになると思いますけれども、またこうして同じようにお時間を割いていただいて、皆さんの知見を反映させていく、そういう場面も設けることも多いと思います。その際はお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議で予定した議案は以上でございますけれども、教育委員の皆様から何かありましたら、ご発言をいただけたらと思います。

松永委員 中学校整備に関わらずということによろしいでしょうか。

田鍋町長 はい。

松永委員 現在、久保内小学校が休校中という状況でありました。地域の方々も、たぶん町政懇談会の中でも話が出たりしているのかと思いますけれども、あの小学校の状況がどうなっていくのかということをお心配されている方もいらっしゃるのではないかと考えております。北海道、全国、様々なところで学校が閉校してしまう。その後、校舎の利活用については、様々な事例が出ているということも皆さん承知されていると思います。

我が町の久保内小学校の今後に向けてもこれからいろいろと検討を加えながら、今休校という措置を取っているわけでありますから、そのことがどのように進展するのか、あるいは閉校なのかという話も委員会の中では議論を進めているところではありますけれども、これから町長をはじめ、議員の皆さま方ともお話を交えながら、ただ委員会としては、委員会の教育施設ということでの方向性を提示させていただきながら、それについてのご意見をいただくようお願いをしたいということを、この場で、別件ではありますけれどもお話をさせていただきたいなと思います。以上です。

田鍋町長 ありがとうございます。

久保内小学校の休校措置、平成30年に行ったところでありますけれども、早くも3年が経過した中で、将来の地域のあり様を含めて、教育的な観点からその措置をどのようにしていくのかというのは喫緊に地域との話、保護者との話もさせていただきながら、方向付けしなければならぬ重要な課題であるという認識を持っているところでありまして、ここ1年、2年については小学校が

実質1校になっているということで、教育活動に、その環境も最大限子どもたちに負荷がかからないように、より良い教育が出来るようにということで、教育委員会だけでなく我々もそのように見守っていた中だと思えますが、3年を経過した中で、それらについても教職員の皆さん、保護者の皆さんの理解の基で、順調に推移していると。こうした環境を踏まえながら、3年がたった今、将来を見据えた議論を始めるべきなのかなと、このように私自身も思っているところでありまして、今後につきましては、これから委員の皆様と広く議論をしながら、方向付けをしていきたいなと思っておりますが、そのような段階を踏んで措置を決定して、方向付けをしていきたいと思っておりますところでございます。

それ以外にも、先ほど教育長の発言の中にもありましたけれども、壮警高校の校舎の老朽化、著しい老朽化の問題など課題意識は私も持っております、また教育委員の皆さまと広く意見交換をさせていただきながら、方向付けをなるべく早い時期にさせていただきたいとこのように思っておりますので、よろしく願いいたします。お願いすることばかりで恐縮なんですけれども、よろしく願いしたいと思えます。

松永委員 ありがとうございます。

田鍋町長 その他、委員の皆様からありますでしょうか。

(「なし」と言う人あり)

田鍋町長 今日は中学校の方向付けということでありましたけれども、今いただいたようにまだまだ方向付けしなければならぬことがたくさんありますので、こうした機会をまた持たせていただければと思います。また適宜こういう場を持って検討できるものと思っております。

それでは、ご意見は無いようなので、進行を司会に戻します。

5 閉会

上名課長 ありがとうございました。

以上をもちまして、令和3年度第1回壮警町総合教育会議を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。